

会議記録（要旨）

会議名	平成27年度 第1回子ども読書活動推進懇談会	
日時	平成27年6月17日（水） 午後6時～7時55分	
場所	中央図書館 児童資料室	
出席者	委員	岩崎委員、津田委員、滝田委員、沼田委員、増田委員、楠本委員、石川委員
	事務局	井山中央図書館長、吉川中央図書館次長、企画運営係（井口係長、松澤）、事業係（奈良係長、杉本）
配付資料	<p>第1回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第</p> <p>資料1 懇談会委員名簿</p> <p>資料2 26年度子ども読書活動進捗管理票</p> <p>資料3 子ども読書活動実施報告書</p> <p>その他 委員持ち寄り資料</p>	
<p>1 開会 中央図書館館長挨拶</p> <p>2 委員紹介 各委員自己紹介</p> <p>3 昨年度の取り組みについて</p> <p>事務局 高井戸図書館において、プレパパ・ママ応援講座、方南図書館において、プレパパ・ママ・子育て中の親対象に食育講座を実施した。26年度から方南図書館が和泉保健センターで実施している母親学級のプログラムに参加した。全館であかちゃんタイム、あかちゃんお話を実施。「ねえ、よんで」を改訂し、保育園、児童館、子供園に配布。西荻、高井戸図書館では、小学校読み聞かせボランティア講座終了生が定例お話会に参加している。</p> <p>学校図書館の充実では、済美教育センター発のトラック便を利用し、学校図書館間の相互貸借システムを構築、昨年度の実績は10回。特別な支援を必要とする子供への支援として、図書館から図書館バッグ配布やお話会で出向いたり、学校が図書館に訪問したりしている。学校司書研修でも、特別支援学級での取り組みを取り上げている。</p> <p>中高生向けサービスの充実として、成田図書館において東田中図書委員による「選書ツアー」、阿佐谷図書館において「来て観てさわって！手作り布絵本」については、資料3の事業報告書に記載がある。高井戸、方南図書館において近隣学校の定期テスト時、多目的ホールを学習室として開放し、さらに高井戸図書館では、隣接の高井戸中の生徒が昼休み自由に利用できるように、また、調べ学習</p>		

資料を生徒が授業中に図書館の書架から探せるように仕切りのドアを開放した。  
※以上、資料2、3を基に説明。

委員 報告について質問は。

委員 トラック便ができて、スムーズに機能しているか。

事務局 学校と図書館の行き来でなく、学校間で借りられるようになった。

委員 自分の学校だけだと本に限りがあるので便利だ。杉並は学校図書館に司書がいて、図書館を活用しやすい。

事務局 26年度は試行、今年度は本格的実施になる。

事務局 高井戸図書館の開放は良いことだと思う。利用状況はどうなのか。

事務局 みんな気軽に使っていると聞いている。

委員 定期テスト時に多目的ホール開放はよいことだと思う。

事務局 方南図書館のYAコーナーは児童コーナーにあり、中学生には椅子が小さく使いにくそうなので、多目的ホールを開放したと聞いている。

委員 可能であれば、他の図書館でも実施して欲しい。

委員 車イスの子どもを他の子が支えていた。そのような環境も大事だ。図書館と学校の連携で障害者はどのようなサービスを要望しているのか。

事務局 区内にも特別支援学校があり、図書館バックを配りに行ったり、読み聞かせに行ったりしている。方南図書館は、中野区に近いので中野特別支援学校の小学部の児童が来ている（社会経験をさせるという意味で）。阿佐谷でも同様に特別支援学級の訪問を受け入れている。

委員 調べる学習コンクールのお話を聞きたい。

事務局 今年度で16回目。今年度の予定は、9月1日から9月下旬に学校を通じて受付。個人も可。対象は小学生から高校生まで。区長賞1点・教育長賞1点・奨励賞26点があり、それらを11月の全国大会へ出展する予定。

委員 それに積極的に関わっているか。

事務局 児童資料室を開放している。

委員 調べる学習コンクールがあることは、夏休み前に子どもたちに告知している。

委員 本の帯コンクールは。

事務局 今年度で12回目。第2四半期から第4四半期にかけてやっている。

委員 高井戸中でビブリオバトルをやったとあるが、データはあるか。

事務局 すぐには出ない。

委員 事業でおすすめはあるか。

事務局 第2四半期の宮前図書館の各種ワークショップ「本を紹介するしおりをつくろう」・「ノーダリニッチ島動植物ハンティングカード」・「ノーダリニッチ島新種発見！コンクール」を実施。ひとつで終わらず関連づけて実施した。

事務局 出版社が杉並にあり、協力していただいた。

委員 図書館と吹奏楽部のコラボは、図書館でなく学校で実施したのか。

事務局 学校で実施した。成田の選書ツアーも東田中。東田中は学校司書の力などバックアップがすごい。

吹奏楽とのコラボについて（追記）

昼休みの10分ぐらい 学校図書館にて

- ・「宇宙のみなしご」森絵都・著 を学校司書が紹介
  - ・「流星」三代目J Soul Brothers を吹奏楽部が演奏
  - ・「海底二万里」ヴェルヌ・著 を学校司書が紹介
  - ・「アンダー・ザ・シー」リトルマーメイドより を吹奏楽部が演奏
- 吹奏楽部は、曲の演奏だけでなく、合間に効果音を入れたりもする。

委員 いつから盛んになったのか。

事務局 ここ1、2年ではない。東田中は、学校支援本部の中に学校図書館を支援する部署があると聞いている。

委員 天沼小・沓掛小・天沼中合同おはなし会はおもしろい。

事務局 中学校の図書室に絵本があると聞いている。小中連携が盛んで、学校図書館を媒介にして行われている。

委員 西荻図書館の「小学校ボランティアのための読み聞かせ講座」は、受けた人が、定例でお話会をやるのか。

事務局 定例でお話会に参加している。

委員 絵本はシンプルで応用ができる。どれも面白そうだが、高円寺の読書散歩は楽しそう。

事務局 高円寺周辺のお寺を回って昔話の本をつくっている。

読書さんぽについて（追記）

年に1回 学校図書館、児童館などにて

高円寺中、高南中生徒が高円寺近隣の小学生や幼児に、地域に縁のある作家の絵本などの読み聞かせを行う。

過去の回では、お寺に行って住職の話を聞いたり、紙芝居や絵本の作成を行ったりした。※絵本作りプロジェクトは、別事業として独立した。

#### 4 その他

委員 最後に委員が、持ち寄った資料で話を。

委員 出版市場は低下している。特に雑誌。家計の書籍・雑誌を購入する比率も低下している。しかし、児童書については増加している。

図書館の利用動向として、一人あたり貸出冊数は、年間5.4冊。

児童書の増加は、図書館・学校などで破損した場合買い替える、電子書籍の影響を受けにくいことが考えられる。

委員 電子書籍を貸出しているところはあるか。端末も借りることはできるのか。

事務局 ある。中野区では、図書館内限定だが、端末も貸している。

委員 子どもの本は消耗品で汚れて当然と思って出来るだけ買い換える。消毒するという話を聞いた。北区のように消毒（ブックシャワー）はしているか。

事務局 杉並はやっていない。極端な汚損本は廃棄、買い替え、弁償等の指導・対応の強化に努め、極端な汚損本に配慮する。

委員 図書館に古本を持ち寄り図書館で買うことができたらいいなと思いこの資料を用意した。

お勧めの一冊「子どもと本」松岡享子著 図書館の人が読んだらどう思うか。人が情熱的に本を子どもに手渡さなければ意味が無いと言っている。

事務局 この本は読んだ。本の内容に共感するが、理想的な活動と現状にはギャップがあると思う。

委員 いい本だけではだめだ。ミックスしていかないと、子どもに考える余地を与えないと。字が読めることと中身を考えることは違う。読む読まないの基本がその後の学力につながる。

委員 大人に読書をどれくらいしたかを聞いたら、小さい時に読書していた人は、大人になっても本を読む。環境を作ることが大事。

委員 「知の広場」アントネッラ・アンニヨリ著 の17の忘れてはならないポイント。公共図書館はこうあって欲しいという指針を示している。次回もこのような情報提供ができればいいと考えている。